

ふるさと歴史探訪

田原市の沿革～我がまちの歩み

平成22年4月1日更新

◆古 代

後期旧石器時代(約2万年前)	・渥美半島で人々が暮らし始める。
縄文～弥生時代	・吉胡・伊川津・保美の三大貝塚をはじめ、数多くの遺跡が存在
古墳～奈良時代	・城宝寺古墳、向山古墳群、山崎遺跡、藤原古墳群等の遺跡が存在
奈良時代	・西の浜製塩遺跡群等の古代の塩づくりが繁栄 ・郡里名好字二字の施行により飽海郡が渥美郡となる。〔713年(和銅6年)〕 ・市内最古の寺、泉福寺(山田町)建立〔743年(天平15年)頃〕

◆中 世

平安～鎌倉時代	・伊良湖東大寺瓦窯跡、皿山古窯群、皿焼古窯跡群、大アラコ古窯跡等、やきもの(渥美古窯)が盛んとなり、中世における窯業の一大産地を形成 ・伊良久大明神草創(のちの伊良湖神社)〔875年(貞観17年)〕 ・西行法師が伊勢から伊良湖に渡り和歌を詠む〔1186年(文治2年)〕
南北朝争乱期 ～戦国時代	・支配の形態が伊勢神宮領から公卿領、戦国国人層の所領へと徐々に変化
文明12年(1480年)頃	・戸田氏が田原城築城、渥美半島全域と知多半島の南半分を領有
天文16年(1547年)	・今川義元の支配下 ※竹千代(徳川家康)強奪事件に端を発し、今川義元に攻められ戸田氏滅亡
永禄8年(1565年)	・徳川家康の支配下 ※家康(この時24歳)は六連町の長仙寺を本陣として田原城を攻め、手中に収める。

◆近 世

天正18年(1590年)	・東三河一円を領有した吉田城主池田輝政の統治
江戸時代	・藩領、旗本知行地、天領(幕府直轄領)、寺領が入り組んで存在
寛文4年(1664年)	・三宅康勝が田原城主となり、以後、三宅家が12代にわたり1万2千石を領有
貞享4年(1687年)	・松尾芭蕉が愛弟子杜国を訪ねて渥美(保美町)を来訪 ※この時、杜国とともに伊良湖を訪れ「鷹ひとつみつけてうれしいらご崎」の句などを詠む。
元禄元年(1688年)	・渥美地域では、大垣新田藩が戸田氏成によって成立し、現在の福江町にあたる畠村に陣屋を構える。ほかにも旗本清水・諏訪・本多氏などの支配が明治維新まで続く。
宝永4年(1707年)	・宝永地震発生(マグニチュード8.4、震度7～6) ★データ [渥美郡、豊橋で大被害ほか県内で被害、家屋の倒壊率6～7割、三河湾にも津波発生、渥美表浜で6～7m、高松町でも大津波発生] ☆この年、富士山噴火(中腹で大噴火)

寛政5年(1793年)	・渡辺華山誕生 ・「芭蕉翁之碑」建立(「鷹ひとつみつけてうれいらご崎」伊良湖芭蕉園地内)
享和3年(1803年)	・伊能忠敬がこの地方の測量に訪れる。
文化6年(1809年)	・華山、谷文晁に師事
文化7年(1810年)	・田原藩に藩校成章館創設 ※成章の名は『論語』公冶長編の中の「斐然成章」の句に基づく。
文政1年(1818年)	・華山、「一掃百態図」を描く。
天保3年(1832年)	・華山、田原藩家老職を命ぜられる。
天保6年(1835年) ～天保8年(1837年)	・全国的な大飢饉、田原藩は渡辺華山の指導により、天保6年に官民一体で「報民倉」を築き、一人の餓死流浪者も出さず大凶作を乗り切る。
天保9年(1838年)	・大飢饉を乗り切った田原藩が幕府から全国唯一の表彰を受ける。
天保10年(1839年)	・蚕社の獄、渡辺華山ら逮捕
天保11年(1840年)	・華山、田原に到着、家族とともに池ノ原邸で幽囚の日を送る。
天保12年(1841年)	・渡辺華山自刃(49歳)
嘉永元年(1848年)	・漁夫歌人糟谷磯丸没(85歳)
嘉永4年(1851年)	・江比間村永久丸が熊野灘で難船漂流し、4人の乗組員はグアム島の北東でアメリカの捕鯨船に救助。うち2人はアメリカ見聞等ののち5年後に帰国。帰国後『漂民間書』(市指定文化財)が作成される。
安政元年(1854年)	・安政地震発生(マグニチュード8.4、震度6～5) ★データ [津波、渥美表浜で8～10m、西堀切村で大被害(死者:8人、負傷者:60人、流失家数:113、流失棟数:275)、赤羽根海岸も崖崩れ、津波による船、網の被害が甚大]

◆明治(1868年～)

明治初年(1868年)	・現田原市の市域には、58の村(田原:31村、赤羽根:6村、渥美21村)が存在
4年(1871年)	・廃藩置県、改置府県により三河全域と知多郡は額田県の所属となる。 ☆郵便制度が始まる。
5年(1872年)	・全村が愛知県の所属となる(額田県廃止、愛知県に編入) ・田原城解体
6年(1873年)	・各地に小学校が開設されはじめる(多くは寺小屋形式) ※明治10年代中頃には、現田原市域には40を超える小学校が存在した。その後、尋常・高等の制度を経て町村合併等もからみ明治時代後半には、ほぼ現在の学校数に統合されていった。 ・田原に郵便局開局
7年(1874年)	・島村(福江)に郵便局開局
9年(1876年)	・赤羽根に郵便局開局
11年(1878年)	・郡区町村編成法施行、41村となる。
13年(1880年)	・村松愛蔵らにより田原に「恒心社」結成(自由民権運動)
15年(1882年)	・田原町二ツ坂でセメントの製造が始まる〔東洋組(民営)〕 ※日本の近代化を支えた草創期のセメント産業は、田原ほか東京深川、山口県小野田市で始まった。
19年(1886年)	・田原商談会(現田原市商工会)発足 ・コレラ流行、江崎巡查殉職
20年(1887年)頃	・汽船就航(田原～牟呂、福江～名古屋等)
22年(1889年)	・市制町村制施行、15村となる(明治の大合併)
23年(1890年)	・東洋組のセメント工場が現在の豊島町に移転
24年(1891年)	・東洋組のセメント工場が三河セメント工場として再出発

25年(1892年)	・田原村が町制施行により田原町となる。
27年(1894年)	・日清戦争開戦 ★データ [現田原市域では、20人近くが戦病死]
28年(1895年)	・渥美郡農会設立
29年(1896年)	・(株)田原商工銀行設立(田原における最初の銀行)
30年(1897年)	・田原郵便局が田原・豊橋間で電信事務を開始 ・福江村が町制施行により福江町となる。 ・この頃から養蚕が盛んとなる。
31年(1898年)	・日本民俗学の父、柳田(松岡)國男が伊良湖を訪れる。 ※このとき恋路ヶ浜で拾った椰子のの実の体験を親友、島崎藤村に話したことが素材となり抒情詩「椰子の実」が誕生
30年代後半～40年代	・多数の製糸工場が創業 ★データ [田原地区製糸工場数:18 職工数:1,050人(M44渥美郡統計書)] ※職工数10人以上の工場である。このほか渥美地区でも多くの工場が創業
33年(1900年)	・(株)赤羽根銀行設立 ※当時、浜で大漁が続き、村民が相当な収入を得たため、その保管・利殖と経済開発のために設立 ・田原・赤羽根・福江間で電信開通
34年(1901年)	・成章館(現成章高等学校)再興 ・陸軍技術研究所伊良湖試験場(伊良湖射場)設置、伊良湖集落移転(38～39年) ・赤羽根、田原間に客馬車が走る。 ・お糸奉献(お糸船)が始まる。
35年(1902年)	・柳田國男が伊良湖等の滞在記「伊勢の海」(後に「遊海島記」と改題)を発表
36年(1903年)	・各地区に漁業組合が設立される。
37年(1904年)	・日露戦争開戦 ★データ [現田原市域では、110数人が戦病死]
39年(1906年)	・相川村、田原町、童浦村、大久保村が合併し、新たに田原町となる。 ・清田村、福江町、中山村が合併し、新たに福江町となる。
41年(1908年)	・田原町立技芸専修学校設立(中部小学校内)
42年(1909年)	・成章館が田原町立成章館として小学校から独立 ・華山史跡として、池ノ原公園(邸址)設定
42年～43年頃	・田原に馬車会社が設立
43年(1910年)	・田原郵便局で電話交換事務開始 ★データ [電話加入者数…田原:27、福江:16]
44年(1911年)	・野田村、全国初の耕地整理竣工

◆大 正(1912～)

大正2年(1913年)	・田原町営電灯会社(火力発電)設立 ・成章館が中部小学校校内から池ノ原新築校舎に移転
3年(1914年)	・田原本町・萱町・新町・巴江・八軒家・神戸市場に電灯送電開始。この時期、福江町でも福江電灯株式会社(松淵発電所)から福江地区に送電開始 ・第1次世界大戦参戦
4年(1915年)	・池ノ原公園に華山の銅像建立(太平洋戦争中に供出) ・田原・豊橋間に自動車(バス)運行(それまでは乗合馬車と蒸気船のみ) ・福江・田原間で客馬車1日3往復運行
5年(1916年)	・田原町立中学成章館設立認可(全国唯一の町立中学校)

	<ul style="list-style-type: none"> 田原馬車会社がゴム輪馬車運行、田原・豊橋間の運賃25銭を20銭に下げ、自動車に対抗。田原を中心に福江・赤羽根方面にも運行 															
6年(1917年)	<ul style="list-style-type: none"> はじめて田原上空を飛行機が飛ぶ(海軍機4機) 田原・豊橋間に定期乗合自動車運行、1日2回、運賃60銭(雨天時2割増し) <p>★データ [この頃の製糸工場女工の賃金: 1日65~87銭(12~13時間労働)]</p>															
7年(1918年)	<ul style="list-style-type: none"> 福江・田原間で客馬車・自動車1日2往復運行 															
8年(1919年)	<ul style="list-style-type: none"> 田原商工銀行が明治銀行と合併し明治銀行田原支店となる。 赤羽根商談会(赤羽根商工会の前身)設立 福江・田原・豊橋間で乗合自動車運行、田原・赤羽根間の運行も開始 <p>★データ [乗合自動車運賃: 田原・豊橋間80銭、福江・豊橋間1円70銭]</p>															
9年(1920年)	<ul style="list-style-type: none"> 田原町立中学成章館が郡立成章中学校に昇格 白谷の石灰石採掘場で鍾乳洞を発見、「白雲洞」と命名するが採掘のため取崩しとなる。 第1回目の国勢調査実施 <p>★データ 第1回国勢調査結果[人口・世帯]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>50,276</td> <td>21,978</td> <td>7,127</td> <td>21,171</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>9,214</td> <td>3,892</td> <td>1,294</td> <td>4,028</td> </tr> </tbody> </table>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	50,276	21,978	7,127	21,171	世帯	9,214	3,892	1,294	4,028
区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)												
人口	50,276	21,978	7,127	21,171												
世帯	9,214	3,892	1,294	4,028												
10年(1921年)	<ul style="list-style-type: none"> 田原町立技芸専修学校を田原町立技芸専修女学校と改称 															
11年(1922年)	<ul style="list-style-type: none"> 田原分署が豊橋警察署から分離し田原警察署となる。 (株)赤羽根銀行が大野銀行に合併 渥美電鉄株式会社創立、鉄道敷設工事が始まる。 百々陶器窯跡が国の史跡に指定 吉胡貝塚の第1回発掘調査。人骨236体出土、日本一となる。 伊川津貝塚の第1回発掘調査(叉状研歯のある頭骨や有髻土偶など出土) ※吉胡貝塚、伊川津貝塚とも考古学、人類学の研究に多大な貢献をした。 															
12年(1923年)	<ul style="list-style-type: none"> 船倉橋が鉄筋コンクリートの橋となる。 吉胡貝塚の第2回発掘調査。人骨66体出土 渥美郡内の郡道がすべて県道となる。 郡立成章中学校が県立となる。 渥美郡内全域に送電が可能となる。 <p>☆関東大震災</p>															
13年(1924年)	<ul style="list-style-type: none"> 渥美電鉄、田原神戸・高師空池間営業開始、1日13往復、運賃46銭 															
14年(1925年)	<ul style="list-style-type: none"> 福江裁縫女学校開校(福江高校の前身、福江尋常高等小学校に付設開校) 渥美電鉄、田原・豊橋間営業開始、運賃61銭のところ自動車に対抗して49銭 <p>☆東京放送局(現NHK)がラジオ局を開局し放送開始</p>															
大正時代全般	<ul style="list-style-type: none"> 商工業が発展、大衆社交場も活況を呈する。 <p>※田原は城下町として商人や職人が集結し、明治後半には貨幣経済が浸透。大正から昭和初期にかけては、芝居小屋や映画館などの大衆社交場も活況を呈し、料理旅館などの接客業もゆうに60数軒を数え、駅前周辺にはカフェーもできた。</p> <p>赤羽根地区は農漁業が中心であり特に養蚕業の収入で農家が活気をおびていた。福江地区でも福江港を中心として物資の流通が盛んとなり、下地・原ノ島・天神の商店街が発展した一方、経済大不況や関東大震災など変転の激しい世相でもあった。</p>															

◆昭和(1926～)

昭和2年	12月	・県議会にて近藤寿市郎(赤羽根高松生まれ、県議会議員、のち衆議院議員)が豊川用水構想を提唱															
昭和3年	11月	・田原商談会を田原商工会と改称															
昭和4年	11月	・伊良湖岬灯台完成															
昭和4～5年頃		<p>・昭和恐慌、生糸大暴落、農村不況を引き起こす。</p> <p>★データ 昭和元年から4年までの渥美郡における全耕地に対する現金所得の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>繭</th> <th>米麦</th> <th>食用農作物</th> <th>果樹</th> <th>そ菜・花き</th> <th>工業用農作物</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58%</td> <td>14%</td> <td>7%</td> <td>2%</td> <td>16%</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>資料:愛知県養蚕業史(S39)</p> <p>・この頃、甘藍(キャベツ)栽培始まる。</p> <p>・昭和初期、表浜地区ではエンドウが特産品となる。</p>	繭	米麦	食用農作物	果樹	そ菜・花き	工業用農作物	58%	14%	7%	2%	16%	3%			
繭	米麦	食用農作物	果樹	そ菜・花き	工業用農作物												
58%	14%	7%	2%	16%	3%												
昭和5年		<p>・田原町立技芸専修女学校、中部尋常小学校の校舎建設(鉄筋コンクリート造、現田原市民俗資料館)</p> <p>・福江町役場庁舎完成(鉄筋コンクリート造)</p>															
昭和6年	4月	<p>・田原町立技芸専修女学校を田原高等技芸女学校と改称</p> <p>・この頃、ラジオが普及しはじめる。</p> <p>・農繁期間中、各地区に託児所が開設されはじめる。</p> <p>☆満州事変</p>															
昭和7年		<p>・小塩津地区で温室栽培始まる。</p> <p>・三河セメント(株)がアジアで初の焼成装置付回転窯の導入に成功</p> <p>☆上海事変</p>															
昭和9年		・華山文庫建設(田原出身の近代建築家、永瀬狂三の作)															
昭和10年	4月 10月	<p>・保証責任組合渥美病院開院</p> <p>・第4回国勢調査実施</p> <p>★データ 第4回国勢調査結果[人口・世帯]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>48,669</td> <td>21,566</td> <td>6,450</td> <td>20,653</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>8,944</td> <td>3,911</td> <td>1,123</td> <td>3,910</td> </tr> </tbody> </table>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	48,669	21,566	6,450	20,653	世帯	8,944	3,911	1,123	3,910
区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)													
人口	48,669	21,566	6,450	20,653													
世帯	8,944	3,911	1,123	3,910													
昭和11年		<p>・「椰子の実」の歌が誕生、作曲者は大中寅二、NHKの国民歌謡として東海林太郎の歌唱により全国に流れる。</p> <p>★データ 渥美郡内の乗り物台数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>馬車(荷積用)</th> <th>牛車</th> <th>荷車</th> <th>自動車(乗用)</th> <th>自動車(荷積用)</th> <th>自転車</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>2,397</td> <td>5,718</td> <td>59</td> <td>73</td> <td>11,151</td> </tr> </tbody> </table> <p>※この頃の渥美郡は二川村、高豊村、老津村、杉山村を含む 資料:愛知県統計書</p>	馬車(荷積用)	牛車	荷車	自動車(乗用)	自動車(荷積用)	自転車	18	2,397	5,718	59	73	11,151			
馬車(荷積用)	牛車	荷車	自動車(乗用)	自動車(荷積用)	自転車												
18	2,397	5,718	59	73	11,151												
昭和12年	7月 12月	<p>・日中戦争へ突入</p> <p>・伊川津に東京大学農学部附属水産実験所開設</p>															
昭和13年頃		・この頃、二七市の出店数、300店を超える。															
昭和15年	9月	<p>・渥美電鉄(株)が交通統合により名古屋鉄道に合併、渥美線となる。黒河原・福江間の工事も着工されたが、戦局の悪化でそのままとなり、S19年に黒河原・田原間の敷設されたレールは資材転用により撤去された。</p> <p>・三河セメント(株)の経営が東洋産業(株)田原工場に替わる。</p>															

昭和16年	4月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が全国一斉に国民学校と改称 ・太平洋戦争開戦 ・各戸に水槽、砂嚢、濡れムシロ、バケツ、防火ハタキ、竹槍など設置、夜間は灯火管制により真暗なため防犯強化される。 															
昭和17年		<ul style="list-style-type: none"> ・三河セメント(株)を小野田セメント(株)が買収 ※その後、経営の変遷が続き、最終的には太平洋セメント(株)となり、平成15年に工場閉鎖となる。 ・食塩、味噌、醤油などが配給制となる。 															
昭和18年		<ul style="list-style-type: none"> ・金属製品の供出がはじまる。 															
昭和19年	4月 4月 10月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・田原高等技芸女学校が田原女子実業学校に昇格 ・福江裁縫女学校を福江女子実業学校と改称 ・田原保健所開所(事務所は豊橋保健所内、現庁舎はS44年～) ・東南海地震発生(マグニチュード8.0、震度6～5) <p>★データ 東南海地震の被害(田原市域)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>死者</th> <th>負傷者</th> <th>住家全壊</th> <th>住家半壊</th> <th>非住家全壊</th> <th>非住家半壊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6人</td> <td>4人</td> <td>302</td> <td>1,006</td> <td>730</td> <td>946</td> </tr> </tbody> </table> <p>※戦時中のためデータ不足の面あり 資料:田原市地域防災計画</p>	死者	負傷者	住家全壊	住家半壊	非住家全壊	非住家半壊	6人	4人	302	1,006	730	946			
死者	負傷者	住家全壊	住家半壊	非住家全壊	非住家半壊												
6人	4人	302	1,006	730	946												
昭和20年	1月 8月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・三河地震発生(マグニチュード7.1、震度7～6) <p>★データ 三河地震の被害(田原市域)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>死者</th> <th>負傷者</th> <th>住家全壊</th> <th>住家半壊</th> <th>非住家全壊</th> <th>非住家半壊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>59</td> <td>469</td> <td>13</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table> <p>※戦時中のためデータ不足の面あり 資料:田原市地域防災計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋戦争終戦 <p>★データ [現田原市域における日中・太平洋戦争戦没者数:約2,300人]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海銀行と大野銀行が合併、東海銀行田原支店(現三菱東京UFJ銀行田原支店)となり現在に至る。 ・西山地区が農地開発営団の事業地区となり開拓が決定、翌21年から開墾が始まる。当初の入植者数:101人 ・西ノ浜海岸を中心に煮干製造活況 ※戦後、渥美西ノ浜を中心に煮干の製造が活況を呈した。伊勢湾を中心にイワシの豊漁が続き、西ノ浜には煮干小屋が林立していた。煮干生産は昭和40年ごろまで続きやがて資源の減少、枯渇により衰退していった。 	死者	負傷者	住家全壊	住家半壊	非住家全壊	非住家半壊	1人	3人	59	469	13	91			
死者	負傷者	住家全壊	住家半壊	非住家全壊	非住家半壊												
1人	3人	59	469	13	91												
昭和21年		<ul style="list-style-type: none"> ・田原女子実業学校が田原高等女学校となる。 ・農地改革により自作農創設の強化、小作地の開放が推進されはじめる。 															
昭和22年	4月 5月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・6・3・3制教育の実施、各地区に中学校が設立 ※中学校は開校したが、当初はいずれも校舎はなく小学校の校舎を使用、独自の校舎は1～4年後に竣工 ・学校給食が始まる。 ※この頃の給食は、配給による鯨肉や脱脂粉乳などによる補助給食が主、その後、パン食中心の給食が普及し昭和29年から31年頃にかけて完全給食に移行した。 ・渥美郡町村会設立 ・臨時国勢調査実施 <p>★データ 臨時国勢調査結果[人口・世帯]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>66,415</td> <td>29,753</td> <td>8,852</td> <td>27,810</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>11,725</td> <td>5,323</td> <td>1,467</td> <td>4,935</td> </tr> </tbody> </table>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	66,415	29,753	8,852	27,810	世帯	11,725	5,323	1,467	4,935
区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)													
人口	66,415	29,753	8,852	27,810													
世帯	11,725	5,323	1,467	4,935													

昭和23年	4月	・成章中学校(5か年修業)が愛知県立成章高等学校となる。(田原高等女学校も合併、男女共学となる)
	5月 12月	・福江女子実業学校が廃校となり福江高等学校開校 ※福江町、伊良湖岬村、泉村学校組合立として開校 ・愛知県田原農業改良普及所創設 ・保育園の設置が始まる。(第一・野田保育所、福江保育園設置認可) ・各学校にPTA発足 ・各地区に農業協同組合設立 ・渥美観光協会設立(伊良湖岬村、福江町、泉村、赤羽根村) ・堀切地区で電照菊栽培始まる。 ☆GHQが祝祭日の国旗掲揚を許可(この年の祝日は9日) ☆サマータイム実施(昭和27年廃止) ☆この年、日本脳炎流行
昭和24年	4月	・私立和敬女子専門学院開校(成章高校赤羽根分校の前身)
	9月	・農林省が国営事業として豊川用水事業に着手(宇連ダム建設工事着工) ・小中山・亀山(H17年休園)・泉保育園設置認可
昭和25年	4月	・仁崎保育園設置認可(昭和57年廃止)
	4月 12月	・福江高等学校が愛知県立福江高等学校となる。 ・渥美観光協会設立(伊良湖岬村、福江町、泉村、赤羽根村、田原町、野田村、神戸村) ・豊川用水起工式挙行 ・サトウキビ栽培がピークとなる。 ※この頃、渥美半島は県下有数のサトウキビの産地で、自家用・商品用砂糖の生産地となり、収穫高は県下の半分近くを占めていた。各地区に製造のための砂糖小屋が造られたが、昭和30年代に入ると姿を消していった。 ☆千円札発行 ☆この年から満年齢の数え方を実施
昭和26年	3月	・国営発掘第1号として吉胡貝塚発掘調査実施 ※日本の文化財保護の第一歩が田原から始まった。
	4月	・愛知県立渥美農業高等学校開校
	4月	・成章高等学校赤羽根分校開校 ※和敬女子専門学校の校舎を買収し発足(昼間定時制)
	4月	・六連保育園設置認可
	7月	・赤羽根漁港が第一種漁港に指定
	7月 12月	・渥美、蒲郡、南知多が愛知県立公園に指定 ・吉胡貝塚が国の史跡に指定 ・この頃から各地区に土地改良法による土地改良区が設立される。
昭和27年	10月	・高松一色地区で県下初の畑地灌漑を施工、その後各地で灌漑事業に着手
	11月	・各市町村に教育委員会設置
	11月	・赤羽根漁港が第四種漁港に指定 ・南部・西部(S58廃止)・華園(S60廃止)・高松・赤羽根・若戸・中山・清田保育園設置認可 ☆GHQ解消、米軍占領政策終わる。

昭和28年	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・13号台風来襲、各地区に甚大な被害 																
		<p>★データ 13号台風の被害(田原市域)</p> <table border="1"> <tr> <td>死者</td> <td>重症</td> <td>軽症</td> </tr> <tr> <td>9人</td> <td>5人</td> <td>36人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>住家全壊</td> <td>住家半壊</td> <td>住家流失</td> <td>床上浸水</td> <td>床下浸水</td> <td>非住家被害</td> </tr> <tr> <td>187</td> <td>727</td> <td>20</td> <td>1,896</td> <td>666</td> <td>3,408</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">資料: 渥美郡郷土資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東神戸(S57廃止)・東部・加治・中部・北部・神戸・大草・漆田保育園設置認可 ・赤羽根漁港整備工事着手 <p>☆NHKがテレビ放送開始</p>	死者	重症	軽症	9人	5人	36人	住家全壊	住家半壊	住家流失	床上浸水	床下浸水	非住家被害	187	727	20	1,896
死者	重症	軽症																
9人	5人	36人																
住家全壊	住家半壊	住家流失	床上浸水	床下浸水	非住家被害													
187	727	20	1,896	666	3,408													
昭和29年	3月	・田原温泉田原ホテル開業																
	4月	・小塩津保育園設置認可(平成17年休園)																
	8月	・宮山原始林が国の天然記念物に指定																
	11月	・田原電報電話局開局(現三菱東京UFJ銀行田原支店の地)																
		<p>★データ [開局時電話加入者数: 411]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この頃から簡易水道が普及 ・戦後、でんぷん製造、マオラン製造活況 <p>※サツマイモの産地であったこの地方では、戦後、でんぷんの製造が盛んに行われていた。また、渥美地区ではマオランの製造も発展した。しかしながら昭和30年代後半から原料の減少や、化学繊維の台頭により姿を消していった。</p> <p>☆50銭以下の小銭廃止</p>																

旧3町時代の幕開け

昭和30年	1月	・旧田原町、神戸村、野田村が合併、新「田原町」誕生
	2月	・「田原広報」第1号発行
	2月	・華山関係資料1件24点が国の重要文化財に指定
	3月	・田原駅前と船倉橋に初めてネオンサインが点灯
	4月	・杉山村六連地区が田原町に合併
	4月	・福江町、伊良湖岬村、泉村が合併し「渥美町」誕生
	5月	・池ノ原公園に華山幽居邸復元、華山銅像除幕式
	5月	・田原町が合併祝賀式開催
	10月	・田原町と赤羽根村により「渥美伝染病院組合」発足
	10月	・渥美町が合併祝賀式開催
		<p>☆アルミ1円硬貨発行</p> <p>★データ [昭和30年当時の各主要統計データは別掲(本資料末尾)のとおり]</p>
昭和31年	1月	・「広報あつみ」第1号発行
	3月	・堀切保育園設置認可(平成19年休園)
	5月	・県下随一のモデル病院として渥美伝染病院が完成
	9月	・農林省伊良湖開拓事業(西山開拓)完了
	10月	・渥美郡社会福祉大会開催
		<ul style="list-style-type: none"> ・この頃、各戸にテレビ受像機、洗濯機が入り始める。 <p>★データ [テレビ受診契約: 33件(3月31日現在) 資料: 愛知県統計年鑑]</p>
昭和32年	2月	・華山関係資料8点が国の重要文化財に追加指定
	2月	・田原町内で集団赤痢が猛威をふるう。
	7月	・伊川津貝塚発掘調査
		<p>☆5千円札発行</p>

		☆100円硬貨発行																
昭和33年	2月 4月 5月 11月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 赤羽根学園設置認可 三河湾国定公園指定 田原町役場新庁舎(現市役所)完成(本町庁舎から移転) ※神戸出張所、野田出張所廃止 赤羽根村が町制施行して赤羽根町となる。 田原町、渥美町で第1回目の町民体育祭開催 宇連ダム完成 ☆1万円札発行 ☆フラフープ大流行																
昭和34年	1月 2月 9月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 田原町が全国町村会から表彰(優良町村表彰) 渥美町役場庁舎増築完成 伊勢湾台風(台風15号)来襲 ★データ 伊勢湾台風の被害(田原市域) <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr> <th>死者</th> <th>重症</th> <th>軽症</th> </tr> <tr> <td>5人</td> <td>11人</td> <td>64人</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr> <th>住家全壊</th> <th>住家半壊</th> <th>床上浸水</th> <th>床下浸水</th> <th>非住家被害</th> </tr> <tr> <td>629</td> <td>2,238</td> <td>171</td> <td>1,163</td> <td>5,482</td> </tr> </table> <small>資料:伊勢湾台風状況調(愛知県東三河事務所)</small> <ul style="list-style-type: none"> 赤羽根町全域に簡易水道完備 プロパンガスが各家庭に入り始める。 し尿汲み取り(私営)始まる。 ☆国民年金制度が発足	死者	重症	軽症	5人	11人	64人	住家全壊	住家半壊	床上浸水	床下浸水	非住家被害	629	2,238	171	1,163	5,482
死者	重症	軽症																
5人	11人	64人																
住家全壊	住家半壊	床上浸水	床下浸水	非住家被害														
629	2,238	171	1,163	5,482														
昭和35年	5月	<ul style="list-style-type: none"> 白谷トンネル開通 伊勢湾台風災害復旧事業本格化 ☆カラーテレビ放送始まる。 ☆インスタントのコーヒー、ラーメン続々発売 ☆この年から「お盆」を新暦8月(月おくれ)とすることに決定																
昭和36年	1月 1月 2月 9月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 法制化に基づく商工会設立(3町) 蔵王山にみかん園開墾 渥美フラワーセンター開園 愛知用水公団が豊川用水事業を引き継ぐ。 日出園地に「椰子の実の詩碑」、伊良湖岬に「万葉の歌碑」建立 東部中学校設置(神戸中学校・同六連分校廃止) ★データ この頃の自動車保有台数 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr> <th>自家用</th> <th>官公署用</th> <th>営業用</th> </tr> <tr> <td>863台</td> <td>51台</td> <td>115台</td> </tr> </table> <small>資料:愛知県統計年鑑</small>	自家用	官公署用	営業用	863台	51台	115台										
自家用	官公署用	営業用																
863台	51台	115台																
昭和37年	4月 5月 5月 6月 10月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 和地保育園設置認可(平成19年休園) 田原町、赤羽根町で全国初の農業構造改善事業開始 蒲郡、豊橋、西浦、田原の4港が統合され「三河港」となる。 渥美町母子健康センター設置 伊良湖シーサイドゴルフ倶楽部オープン 水中翼船就航(名古屋・伊良湖間、伊良湖・篠島・西浦間、S57年11月廃止) 渥美町のほぼ全域に簡易水道完備(普及率95%以上) 																
昭和38年	1月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 渥美町土地改良区設立 蔵王山吉胡側観光道路完成 																

	3月	・田原警察署が新町から現在地へ新築移転														
	4月	・県道豊橋伊良湖線2級国道に昇格														
	7月	・田原郵便局が本町から現在地へ新築移転														
	11月	・豊川用水事業に伴う土地改良事業開始														
	12月	・田原に白木屋スーパーマーケット開店(最初のスーパーマーケット)														
昭和39年	3月	・西山海岸堤防建設(伊勢湾高潮対策事業)														
	3月	・保美貝塚発掘調査														
	3月	・伊良湖港、港内泊地・港湾用地造成工事完成														
	4月	・三河港が重要港湾に指定														
	4月	・渥美町と蓄場建設														
	4月	・渥美郡清掃施設組合設立														
	8月	・田原中部小学校プール完成														
	9月	・東三河工業整備特別地域指定														
	9月	・赤羽根学園本館焼失														
	10月	・片浜海岸に公共棧橋完成、鳥羽へ水中翼船就航														
	10月	・蔵王山展望台完成														
	11月	・フェリーボート(伊良湖～鳥羽)就航														
	11月	・第1回渥美町総合文化祭開催														
	11月	・中部電力渥美火力発電所用地売買調印														
	12月	・県道伊良湖岬白須賀線が主要地方道となる ・渥美町で第1次農業構造改善事業実施 ・漬物産業(渥美たくあん等)が活況 ※戦前から漬物用だいこんの産地であり、昭和30年代後半から40年代にかけて「渥美たくあん」をはじめとした漬物産業が活況を呈した。 ☆東海道新幹線開業(東京・新大阪間4時間) ☆東京オリンピック開会														
昭和40年	1月	・東部中学校体育館完成														
	4月	・渥美町観光協会発足														
	7月	・伊良湖海水浴場オープン														
	8月	・赤羽根学園復興竣工														
	10月	・第10回国勢調査実施														
		★データ 第10回国勢調査結果[人口・世帯]														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>56,803</td> <td>26,546</td> <td>6,696</td> <td>23,561</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>11,608</td> <td>5,364</td> <td>1,296</td> <td>4,948</td> </tr> </tbody> </table>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	56,803	26,546	6,696	23,561	世帯	11,608	5,364	1,296	4,948
区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)												
人口	56,803	26,546	6,696	23,561												
世帯	11,608	5,364	1,296	4,948												
11月	・赤羽根町農業協同組合発足(高松・赤羽根東部・赤羽根農協が合併) ☆日本初のハイウェイ名神高速道路全線開通 ☆エレキギター大流行															
昭和41年	1月	・田原町農業協同組合発足(町内12か所の農協が合併)														
	2月	・東三河農業経済圏整備地域指定														
	3月	・渥美郡3町し尿処理場完成、業務開始														
	3月	・渥美魚市場開設(初市は43年5月)														
	3月	・中山小学校体育館完成														
	4月	・田原漁業協同組合が愛知県と三河港造成に伴う漁業補償調印														
	7月	・第一保育所に乳児保育施設完成														
	8月	・国道259号全面舗装完成														
	8月	・伊良湖東大寺瓦窯跡発掘調査														

	8月	・愛知県渥美老人ホーム開所												
	10月	・華山神社完成(再建)												
	10月	・田原町で集中豪雨(見積被害金額24億5千万円)												
		★データ 集中豪雨の被害												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>死者</th> <th>負傷者</th> <th>住家流失</th> <th>住家半壊</th> <th>床上浸水</th> <th>床下浸水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人</td> <td>10人</td> <td>16戸</td> <td>6戸</td> <td>1,923戸</td> <td>2,343戸</td> </tr> </tbody> </table>	死者	負傷者	住家流失	住家半壊	床上浸水	床下浸水	1人	10人	16戸	6戸	1,923戸	2,343戸
死者	負傷者	住家流失	住家半壊	床上浸水	床下浸水									
1人	10人	16戸	6戸	1,923戸	2,343戸									
		資料: 広報たはら												
	11月	・田原萱町交差点に信号灯点灯開始												
	12月	・伊良湖国民休暇村開村(全国17番目)												
		☆ヒノエウマで全国の出生数136万人												
		☆郵便料金が、はがき7円、封書15円になる												
昭和42年	1月	・田原地区臨海工業用地造成事業開始												
	1月	・野田中学校体育館完成												
	2月	・田原町内がダイヤル式自動電話に切り替わる。												
	3月	・旧渥美病院完成(築出に新築移転)												
	4月	・華山会館完成												
	6月	・法務局が東馬洗に新築移転												
	8月	・田原町土地改良区設立												
	9月	・田原町がと殺場廃止												
	10月	・赤羽根町土地改良区設立												
	10月	・渥美電報電話局開局、管内ダイヤル式に切り替わる(除く、和地、泉地区)												
		★データ [開局時電話加入者数:1,353]												
	11月	・渥美郵便局新局舎移築開局												
	12月	・伊良湖東大寺瓦窯跡が国の史跡に指定												
昭和43年	2月	・田原南部小学校校舎完成												
	3月	・清田小学校体育館完成												
	3月	・泉中学校体育館完成												
	4月	・童浦小学校開校(北部小学校と西部小学校が合併)												
	5月	・豊川用水完成、全面通水												
	5月	・渥美半島が県立自然公園に指定												
	5月	・伊良湖ビューホテルオープン												
	5月	・伊良湖・河和間に水中翼船就航												
	6月	・渥美町で大気汚染観測開始												
	7月	・夢の大橋「伊勢湾大橋」構想がまとまる。												
	11月	・赤羽根町史刊行												
	12月	・婦人会、青年会が滝頭山を中心に明治百年記念植樹実施(サクラ・モミジ1,500本)												
		☆郵便番号制が導入される。												
昭和44年	1月	・童浦小学校校舎完成												
	3月	・県道伊良湖岬白須賀線(伊良湖地区)にロードパーク建設												
	5月	・フェリーポート(伊良湖～師崎)就航												
	6月	・豊橋鉄道保美営業所開設												
	7月	・ホバークラフト就航(西浦・伊良湖・鳥羽間、S54年9月廃止)												
	7月	・宇津江海水浴場オープン												
	8月	・田原保健所庁舎が現在地に新築移転												
	11月	・田原臨海部に初めて三菱セメント(株)[現宇部三菱セメント(株)]立地決定												
	11月	・渥美町役場分庁舎完成												

	12月	・豊橋渥美都市計画区域決定
	12月	・新船倉橋開通式実施
		・ほとんどの家庭にテレビが普及
		☆東名高速道路全線開通
昭和45年	1月	・高松小学校校舎完成
	2月	・田原東部小学校校舎完成
	4月	・農業振興地域の指定を受ける。(渥美は4月、田原、赤羽根は12月)
	4月	・渥美町で豊川用水受益に関連する土地改良事業完成
	4月	・中部電力が渥美火力発電所3・4号機増設計画発表 ※この後、反対運動が活発化
	5月	・蔵王山頂にテレビ中継局開局
	6月	・桜のシデコブシ自生地が国の天然記念物に指定
	7月	・伊良湖港湾観光センター(現伊良湖クリスタルポルト)オープン
	7月	・高松小学校、赤羽根中学校にプール完成
	8月	・田原町で東三河町村初の救急業務開始
	8月	・若戸小学校プール完成
	8月	・福江小学校プール完成
	9月	・田原町スポーツ少年団結成
	11月	・市街化区域、市街化調整区域を決定
12月	・田原町役場が電子計算機を導入	
		☆大阪万国博覧会開催
昭和46年	1月	・大アラコ古窯跡が国の史跡に指定
	2月	・田原町給食センター業務開始
	6月	・中部電力渥美火力発電所1号機(6月)・2号機(10月)運転開始
	7月	・赤羽根小学校プール完成
	8月	・グランドショップアツミレイオープン
	8月	・田原町文化協会発足
	9月	・三河港に初の外航船が入港
	10月	・渥美町で救急業務開始
	10月	・田原青年会議所(JC)発足
	10月	・白谷トンネル廃止
	11月	・大草団地分譲
	11月	・渥美町と中部電力との間で公害防止協定締結
	11月	・渥美火力公害反対住民の会発足
	12月	・田原町史上巻(古代・中世編)刊行
	12月	・福江中学校体育館完成
		・和地小学校プール完成
		☆ミニスカート流行
昭和47年	1月	・童浦小学校体育館完成
	2月	・田原中部小学校第一校舎完成
	3月	・成章高校野球部が選抜高校野球大会(甲子園)に出場
	3月	・田原町宮緑ヶ丘住宅完成
	4月	・田原町、渥美町に消防署発足
	4月	・「広報あかばね」第1号発行
	5月	・豊橋港(田原港も含む)開港
	7月	・泉小学校プール完成
8月	・豊橋・渥美広域市町村圏指定・協議会発足	

	9月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・台風20号来襲、農作物等に甚大な被害(3町の被害総額約45億円) ・田原町第1次総合計画策定(基本構想制定) ・この頃から、バードウォッチャーが「タカの渡り」の観察に訪れる。 ☆沖縄返還 ☆札幌冬季オリンピック開催 ☆郵便料金値上げ、はがき10円、封書20円になる ☆ボーリング遊戯が流行 ☆パンダブーム
昭和48年	1月 1月 1月 2月 3月 3月 4月 5月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸小学校校舎、体育館完成 ・姫島港線全面開通 ・中山地区でキャベツの黒斑点問題化 ・渥美郡内の電話がすべてダイヤル式となる。 ★データ【この頃、加入電話1万台突破】 ※人口の少ない農村地域としては比較的早い普及であった。 ・田原東部小学校プール完成 ・亀山小学校校舎完成 ・田原町体育協会発足 ・国道259号福江バイパス開通 ・童浦小学校プール完成 ・臨海部工業用地進出企業操業開始、第1号は北炭カーボン〔現新日化カーボン(株)〕 ・仁崎海水浴場オープン ☆石油ショックで物価高騰
昭和49年	2月 3月 3月 3月 4月 4月 5月 6月 9月 11月 11月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・華山会館に結婚式場完成 ・野田小学校体育館完成 ・伊良湖小学校校舎完成 ・清田小学校校舎完成 ・赤羽根町歴史民俗資料館完成 ・渥美町が合併20周年記念式典開催 ・豊橋・渥美広域市町村圏組合設立 ・トヨタ自動車工業(株)〔現トヨタ自動車(株)〕田原町に進出決定 ・田原町が県下初の公害防止条例制定 ・渥美火力増設反対署名委員会が反対署名(9,862名分)を提出 ・皇太子殿下(現天皇陛下)・妃殿下が温室団地等を行啓 ・田原町が合併20周年記念式典開催 ※町の木を「くすのき」とする。県下初の公害防止都市宣言 ・田原町が「声の広報」の製作を開始 ☆オカルトブーム
昭和50年	3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 4月 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・渥美町農業協同組合発足(泉・福江・伊良湖岬農協が合併) ・田原東部小学校体育館完成 ・田原南部小学校プール完成 ・伊良湖岬中学校体育館完成 ・神戸保育園完成 ・大草団地完成 ・渥美町第1次総合計画策定 ・田原町史中巻(近世編)刊行 ・赤羽根町老人福祉センター完成 ・赤羽根町の木(クロマツ)、花(キク)決定

	7月	・伊良湖小学校プール完成															
	8月	・江比間野外活動センター(青年の家)オープン															
		・この年の7月、堀切海岸に正体不明の動物の死体が漂着、怪獣騒ぎがもちあがる。後にクジラと判明。また、9月には若見海岸に体長15mのマッコウクジラの死体も漂着															
	10月	・第12回国勢調査実施															
		★データ 第12回国勢調査結果〔人口・世帯〕															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>56,633</td> <td>26,268</td> <td>6,302</td> <td>24,063</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>12,434</td> <td>5,842</td> <td>1,299</td> <td>5,293</td> </tr> </tbody> </table>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	56,633	26,268	6,302	24,063	世帯	12,434	5,842	1,299	5,293
区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)													
人口	56,633	26,268	6,302	24,063													
世帯	12,434	5,842	1,299	5,293													
		★データ〔臨海部等工業地帯進出企業数(立地件数):5社〕															
		☆沖縄海洋博覧会開催															
昭和51年	1月	・大草小学校プール完成															
	2月	・東部保育園園舎完成															
	3月	・六連地区に田原町初のテニスコート(2面)完成															
	3月	・泉中学校校舎完成															
	4月	・伊良湖保育園設置認可(平成17年休園)															
	4月	・渥美町清掃センター完成															
	6月	・六連小学校校舎、体育館完成															
	8月	・六連小学校プール完成															
	11月	・中部電力渥美火力発電所3・4号機増設調印															
	12月	・渥美火力増設賛成派が増設賛成署名(11,506名分)を提出															
	12月	・渥美町長リコール運動が起こる。															
		☆郵便料金が、はがき20円、封書50円になる															
昭和52年	2月	・亀山保育園園舎完成															
	3月	・野田保育所園舎完成															
	3月	・亀山小学校体育館完成															
	4月	・田原町議会だより創刊															
	4月	・渥美町文化協会発足															
	4月	・シーサイド伊良湖オープン															
	5月	・松くい虫大発生、田原町で薬剤空中散布を実施(渥美町も53年から実施)															
	8月	・野田小学校プール完成															
	10月	・田原町福祉授産所開設															
昭和53年	1月	・大草保育園園舎改築、南部保育園園舎完成															
	1月	・大草小学校体育館完成															
	2月	・伊良湖小学校体育館完成															
	2月	・伊良湖岬中学校校舎完成															
	3月	・小中山保育園園舎完成															
	3月	・保美仲瀬古住宅完成															
	4月	・渥美町体育協会発足															
	5月	・田原町史下巻(近代・現代編)刊行															
	6月	・田原町総合体育館完成															
	7月	・神戸小学校プール完成															
	7月	・県営水道通水開始															
	9月	・赤羽根町役場新庁舎(現赤羽根支所)完成															
	10月	・愛知県栽培漁業センター開所															
	11月	・赤羽根町が町制施行20周年記念庁舎落成記念式典開催															

	12月	・渥美町が渥美火力発電所3・4号機増設に同意
	12月	・渥美火力増設反対町民大会開催
	12月	・渥美町長リコール署名開始(署名7,301名分提出)
昭和54年	1月	・トヨタ自動車工業(株)[現トヨタ自動車(株)]田原工場操業
	1月	・田原町民俗資料館開館
	3月	・大草小学校校舎完成
	3月	・田原南部小学校体育館完成
	3月	・中部保育所園舎完成
	3月	・赤羽根町農業者トレーニングセンター完成
	3月	・福江小学校体育館完成
	3月	・福江保育園園舎完成
	4月	・渥美町長辞職に伴い第9回渥美町長選挙実施 ※増設賛成派の当選により、長きにわたり町を二分した騒動は終結に向かった。
	5月	・田原町結婚相談所開設
	11月	・赤羽根町第1回文化祭開催
昭和55年	2月	・清田保育園園舎完成
	3月	・北部保育園園舎完成
	3月	・田原中部小学校体育館完成
	3月	・六連地区で農村集落排水事業完成(田原町初)
	3月	・和地小学校校舎完成
	8月	・田原中部小学校プール完成
	8月	・堀切小学校体育館完成
	9月	・田原町農村環境改善センター完成
	10月	・蔵王団地分譲
	12月	・赤羽根町農業情報センター完成(広報無線放送) ☆漫オブーム
昭和56年	1月	・田原町商工会館完成
	1月	・高松、赤羽根、若戸の3保育所完成
	1月	・高松小学校、若戸小学校の特別校舎完成
	2月	・“花と潮騒の伊良湖岬”渥美の観光展、松本市で開催(以後、各地で継続開催)
	2月	・渥美町斎苑完成
	2月	・泉保育園園舎完成
	3月	・赤羽根町水産物荷さばき施設完成
	3月	・成章高校赤羽根分校が校舎新築移転
	4月	・渥美町保健センター完成
	5月	・加治保育園園舎完成
	5月	・中部電力渥美火力発電所3・4号機運転開始
	6月	・渥美町農村環境改善センター完成
	6月	・渥美町結婚相談所開設
	12月	・蔵王団地完成 ・田原町が地方交付税の不交付団体となる。(人口も3万人を突破) ☆郵便料金が、はがき40円、封書60円になる
昭和57年	1月	・高松、赤羽根、若戸の3地区に体育館完成
	1月	・赤羽根町テニスコートオープン
	2月	・福江小学校校舎完成
	2月	・中山保育園園舎完成
	3月	・田原斎場完成

	3月	・東神戸、仁崎両保育園を廃止
	4月	・渥美町のシンボル(木:マツ、花:キク、鳥:タカ、魚:タイ)決定
	4月	・渥美町総合運動場オープン
	4月	・渥美町総合運動場で愛知県緑化推進大会開催
	4月	・蔵王幼稚園開園
	7月	・三河港大橋開通
	8月	・田原中学校校舎完成
		・この頃、ゲートボールが普及
		☆500円硬貨発行
昭和58年	2月	・渥美町役場新庁舎(現渥美支所)完成
	2月	・渥美町民憲章制定
	2月	・堀切小学校校舎完成
	2月	・渥美町史(資料目録編)刊行
	3月	・豊橋・渥美広域市町村圏組合解散
	3月	・西部保育園廃止
	3月	・渥美町農村情報連絡施設(広報無線)全曲開局
	4月	・山北保育園開園
	4月	・国道259号田原バイパス一部開通
	4月	・伊川津地区で銅鐸発掘
	6月	・中山小学校プール完成
	8月	・渥美音頭(歌:三橋美智也)発表会開催(町民盆踊り大会)
	9月	・滝頭野球場ナイター施設完成
	10月	・田原町施設管理協会設立
11月	・田原地域文化広場完成	
11月	・芭蕉園地整備(句碑建立)	
12月	・和地小学校体育館完成	
昭和59年	1月	・小塩津保育園園舎完成
	2月	・野田中学校校舎完成
	2月	・赤羽根小学校特別校舎完成
	3月	・礼宮様(秋篠宮)が学習院高等科地理研究会一行として堀切温室団地ご見学
	3月	・緑が浜公園完成
	3月	・西鎌田住宅建て替え完成
	3月	・保美後田住宅完成
	4月	・渥美町郷土資料館オープン
	4月	・伊川津貝塚発掘調査
	4月	・衣笠の森オープン
	5月	・渥美町観光協会が「花いっぱい運動」を開始
	10月	・田原町にシルバー人材センター発足
	10月	・田原弓道場完成
12月	・渥美町が長野県阿南町と友好町提携	
昭和60年	1月	・宇連ダム枯渇、時間断水実施
	1月	・古山園地(伊良湖)造成
	1月	・和地保育園園舎完成
	2月	・田原町が町民海外行政視察実施
	3月	・第一保育所園舎完成
	3月	・華園保育園廃止
	3月	・渥美町史(資料編上・下巻)刊行

	4月	・衣笠小学校開校															
	4月	・田原町が校区総代制を導入															
	4月	・田原町、渥美町で合併30周年記念式典開催 ※各種記念事業実施 田原町…町民憲章制定、町の花(キンセンカ)制定、新田原音頭作成(歌手:橋幸夫) 記念誌等発行、記念品配布(全世帯)、華山展、歌謡ショー、音楽パレード 映画会など 渥美町…記念映画作成、記念要覧作成(全世帯)、タイムカプセル埋設(100年後開封) 町民憲章碑建設、糟谷磯丸展、商工まつり協賛など															
	8月	・第1回たはら夏まつり開催															
	8月	・野田中学校プール完成															
	8月	・清田小学校プール完成															
	10月	・田原町勤労者野外活動施設完成															
	10月	・第1回青年の主張渥美町大会開催															
	10月	・第14回国勢調査実施															
			<p>★データ 第14回国勢調査結果〔人口・世帯〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>63,769</td> <td>32,678</td> <td>6,562</td> <td>24,529</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>16,443</td> <td>9,453</td> <td>1,352</td> <td>5,638</td> </tr> </tbody> </table> <p>・赤石地区土地区画整理事業着手</p> <p>★データ〔臨海部等工業地帯進出企業数(立地件数):29社〕</p> <p>☆NTT、日本たばこ産業発足</p>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	63,769	32,678	6,562	24,529	世帯	16,443	9,453	1,352
区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)													
人口	63,769	32,678	6,562	24,529													
世帯	16,443	9,453	1,352	5,638													
昭和61年	2月	・田原福祉授産所新築移転															
	3月	・渥美サイクリングロード恋路ヶ浜ルート開通															
	3月	・堀切保育園園舎完成															
	5月	・赤羽根文化広場オープン															
	7月	・滝頭ニュータウン分譲															
	7月	・たはら国際交流連絡協議会設立															
	7月	・赤羽根音頭作成発表															
	8月	・東部中学校プール完成															
	8月	・堀切小学校プール完成															
	10月	・田原町が津具村と分収林育林契約締結															
	10月	・赤羽根町第1回子どもフェスティバル開催															
	12月	・高松地区、竜巻により大被害(家屋61棟、農業施設、農作物等被害総額9千万円) ・田原町が公共下水道事業に着手 ・田原中央地区市街地再開発事業調査開始															
昭和62年	1月	・恋路ヶ浜が「日本の白砂青松100選」に選定															
	2月	・田原中学校柔剣道場完成															
	3月	・六連保育園園舎完成															
	3月	・田原町リサイクルセンター完成															
	3月	・磯丸園地(伊良湖)完成															
	3月	・江比間西前田住宅完成															
	3月	・渥美の風おこし事業「渥美フェスタ87」開催(渥美町商工会主催)															
	4月	・緑が浜パターゴルフ場オープン															
	4月	・渥美郡土地開発公社設立(現田原市土地開発公社)															
	8月	・田原町新消防庁舎完成															
	8月	・田原中学校プール完成															

	8月	・渥美サイクリングロードが「日本の道100選」に選定
	8月	・渥美郡交通死亡事故多発非常事態宣言発令(死者9人)
	8月	・渥美町が移動図書館開設
	9月	・第1回トライアスロン伊良湖大会開催
	11月	・第1回渥美町健康まつり開催
		☆国鉄分割民営化
昭和63年	1月	・渥美町と豊根村が「雪と花の交換会」開始
	2月	・亀山小学校プール完成
	3月	・渥美町観光協会と豊根村観光協会が姉妹提携
	3月	・豊鉄バス中山線廃止
	4月	・財団法人華山会設立
	4月	・赤羽根中学校体育館完成、開場式実施
	4月	・杜国公園(保美)整備
	5月	・伊良湖海水浴場で中部日本ジェットスキー大会開催
	6月	・渥美町が結婚相談所開設
	7月	・第1回伊良湖岬の集い開催(農業後継者対策)
	7月	・第1回愛のココナッツメッセージやしの実投流実施
	8月	・田原町が外国人英語指導助手導入
	8月	・田原中央地区市街地再開発準備組合設立
	8月	・六連シーサイドタウン分譲
	8月	・第1回あつみ子どもふれあいまつり開催
	10月	・赤羽根町文化の森パターゴルフ場オープン
	11月	・滝頭公園アドベンチャー広場オープン
	11月	・赤羽根町町制施行30周年記念式典開催
		※各種記念事業実施 町民憲章制定、イメージソング制作(さとう宗幸)、タイムカプセル埋設、ビーチフェスティバル等
		☆自動車ナンバープレートに豊橋ナンバー登場
平成元年	2月	・東部中学校柔剣道場完成
	3月	・華山会館改装、新しい結婚式場オープン
	3月	・花トピア89・イン・アツミ開催、ミスフラワー等決定(4月)
	4月	・渥美の森開園
	4月	・赤石幼稚園開園
	5月	・渥美花の村オープン
	6月	・野田中学校柔剣道場完成
	7月	・伊良湖ガーデンホテルオープン
	7月	・豊橋鉄道渥美線の神戸駅新設
	7月	・福江中学校校舎完成
	8月	・第1回あかばね納涼祭開催
	10月	・赤羽根大石海岸にワシントンヤシ32本植栽
		★データ【観光レクリエーション利用者数:462万人】
		☆初の大型間接税(消費税3%)導入
平成2年	1月	・田原リゾート開発株式会社(第3セクター)設立
	1月	・豊島池ごみ処分場閉鎖
	3月	・田原町が津具村(現設楽町)と姉妹提携
	4月	・田原町が米国ケンタッキー州ジョージタウン市と姉妹都市提携
	4月	・ふれあいの館(津具村)オープン

	4月 5月 7月 9月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・たはら国際交流協会設立 ・田原町福祉センター、デイサービスセンターが完成 ・第1回あつみまつり開催 ・赤羽根中学校でパソコン授業開始 ・台風19、20号が来襲、農作物等に甚大な被害(被害総額約50億円以上) ・常陸宮ご夫妻、伊良湖でタカの渡りを見学 ☆役場が4週6休制となる。(4月～) ☆バブル経済崩壊
平成3年	1月 2月 3月 3月 4月 4月 4月 5月 6月 6月 7月 8月 8月 9月 10月 10月 12月 12月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・渥美町郷土資料館展示収蔵館完成 ・田原町公共下水道の終末処理場(田原浄化センター)完成 ・古田宮ノ前住宅完成 ・渥美町史(考古・民俗編、歴史編上・下巻)刊行 ・田原町公共下水道一部供用開始 ・ふれあいの里パターゴルフ場(津具村)オープン ・田原町が第1回緑化まつり開催 ・サンコート田原完成、入居者募集開始 ・たはら夏まつりの新曲「じゃん田`原りん」発表 ・渥美町総合運動場にパターゴルフ場オープン ・ふれあい橋開通 ・赤羽根町、渥美町が中学生海外派遣事業実施 ・渥美町が外国人英語指導助手導入 ・成章高校とスコット高校(ジョージタウン市内)が姉妹校提携 ・華山(没後)150年祭開催 ・赤羽根町、渥美町が町民海外派遣事業実施 ・赤羽根漁港東防波堤灯台点灯 ・汐川の水質全国ワースト1が発表される。 ・伊良湖岬中学校プール完成
平成4年	3月 4月 4月 5月 5月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・渥美町西ノ浜海浜の森開園 ・田原町観光情報センター(めっくんはうす)オープン ・渥美町総合運動場に弓道場完成 ・赤羽根文化の森開園 ・渥美町で第6回柳田國男ゆかりサミット開催 ・赤羽根町文化ホール完成 ・泉中学校プール完成 ☆学校週5日制実施(9月から月1回第2土曜日休み)

平成5年	3月	・県道伊良湖岬白須賀線が国道42号に昇格															
	3月	・田原中学校新屋内運動場完成															
	4月	・田原町博物館オープン															
	4月	・「めっくんはうす」が建設省により全国「道の駅」に認定															
	5月	・野田グリーンヒルほと台分譲															
	5月	・赤羽根町が中国昆山市と友好都市提携															
	6月	・福江中学校プール完成															
	9月	・杉浦明平が渥美町図書館に図書約17,000冊寄贈(明平文庫となる)															
	10月	・華山生誕200年を記念して「華山・江戸まつり」開催															
	10月	・愛知の豊かな海づくり大会、福江漁港で開催 ☆役場が完全週休2日制となる。(4月～) ☆渡辺華山記念切手発行(郵政省文化人切手シリーズ) ☆日本サッカーリーグ(Jリーグ)開幕															
平成6年	2月	・田原町総合体育館でNHK「のど自慢」全国に生放送															
	3月	・田原リゾート開発(株)白谷地先公有水面埋立工事完了															
	4月	・渥美文化会館(文化ホール)オープン															
	4月	・田原町埋立処分場完成、受け入れ開始[11区分(9種類)の分別収集]															
	4月	・蔵王山展望台(建て替え)オープン															
	6月	・渥美町図書館オープン															
	8月	・吉胡蔵王住宅団地分譲															
	8月	・伊良湖港湾観光センターが改装、名称も「道の駅伊良湖クリスタルポルト」と変更															
	10月	・わかしゃち国体開催(田原:9人制バレーボール、渥美:炬火式、ゲートボール)															
	10月	・渥美線三河田原駅建て替え完成															
11月	・赤羽根町環境センター完成 ☆郵便料金が、はがき50円、封書80円になる																
平成7年	3月	・赤羽根トンネル開通															
	4月	・ロングビーチ管理棟オープン															
	4月	・芦ヶ池農業公園(サンテパルク)オープン															
	4月	・赤羽根デイサービスセンター(老人福祉センターに併設)完成															
	6月	・赤羽根町が中国昆山市からの農業研修生受入事業スタート															
	7月	・渥美町一般廃棄物最終処分場受入開始															
	8月	・田原まつり会館オープン															
	8月	・赤羽根町中学生スポーツ交流団訪問事業(中国昆山市)開始															
	10月	・第16回国勢調査実施 ☆データ 第16回国勢調査結果[人口・世帯]															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>65,243</td> <td>35,754</td> <td>6,330</td> <td>23,159</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>17,914</td> <td>10,866</td> <td>1,372</td> <td>5,676</td> </tr> </tbody> </table>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	65,243	35,754	6,330	23,159	世帯	17,914	10,866	1,372	5,676
	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)												
	人口	65,243	35,754	6,330	23,159												
	世帯	17,914	10,866	1,372	5,676												
12月	・旭町はなとき通りオープン																
12月	・伊良湖測候所(伊良湖特別地域気象観測所)観測史上最高積雪12cmを記録 ☆データ [臨海部等工業地帯進出企業数(立地件数):45社] ☆学校週5日制(4月から毎月第2・第4土曜日休み) ☆阪神・淡路大震災 ☆地下鉄サリン事件 ☆円相場1ドル80円を突破																
平成8年	1月	・田原赤石土地区画整理事業完了															
	2月	・三河港大橋4車線開通															

	4月	・田原福祉専門学校開校
	4月	・成章高校赤羽根分校が赤羽根校舎に名称変更
	5月	・日出園地に歌曲「椰子の実」の記念碑建立(作曲者:大中寅二生誕100年記念)
	6月	・第1回渥美町福祉のつどい開催
	7月	・恋路ヶ浜が「日本の音風景100選」、「日本の渚百選」に選定
	7月	・緑が浜パターゴルフ場新装オープン(昭和62年オープン)
	9月	・片浜埋立処分場受け入れ開始
	11月	・三笠宮崇仁殿下、蔵王山に記念の松をお手植え
平成9年	1月	・渥美農業高校とフルネ・デルタ・カレッジ(オランダ)が姉妹校提携
	2月	・渥美町が戸籍の電算化を実施
	2月	・若戸小学校新校舎完成、記念式典開催
	2月	・第1回菜の花まつり開催、ライトアップ等スタート
	3月	・渥美町「環境美化の日」制定、第1回エコフェスタ開催(6月)
	3月	・愛玩(ペット)動物火葬場供用開始
	4月	・田原町ホームページ開設
	4月	・サンテパルクに市民農園「サンテファーム」開園
	4月	・赤羽根町で高齢農業者いきがい農園(いきいき花夢)稼動
	7月	・白谷海浜公園(白谷海水浴場)オープン
	8月	・白谷海浜公園で愛知県総合防災訓練実施
	9月	・神戸小学校新校舎完成
	9月	・法蔵寺団地完成
	10月	・三河港が特定港となる。 ☆消費税率5%に引き上げ
平成10年	3月	・恋路ヶ浜に4つの100選記念モニュメント完成
	5月	・夕陽が浜宅地分譲
	5月	・渥美町ホームページ開設
	5月	・伊良湖海水浴場が「日本の水浴場55選」に選定
	6月	・名古屋港水族館が赤羽根海岸でアカウミガメの調査を開始
	10月	・芦ヶ池農業公園(サンテパルク)にサンテドーム完成
	10月	・シーサイド田原光崎分譲
	11月	・赤羽根町が町制40周年記念式典開催(記念要覧作成、講演会開催等)
	11月	・伊良湖岬灯台が「日本の灯台50選」に選定
	11月	・第1回表浜自然ふれあいフェスティバル開催 ★データ【観光レクリエーション利用者数:320万人】 ☆戦後最悪の不況、過去最大の景気対策 ☆長野冬季オリンピック開催、日本選手の金メダルラッシュ ☆郵便番号が7桁に
平成11年	2月	・田原町が戸籍の電算化を実施
	3月	・国道259号バイパス豊島工区開通
	3月	・田原町デイサービスセンター完成
	4月	・消防赤羽根分署業務開始
	4月	・田原町博物館増築完成
	6月	・田原町が住宅用太陽光発電施設補助制度導入
	10月	・東大寺サミットinあつみ開催
	11月	・田原町が長野県宮田村と友好都市提携 ☆地域振興券交付
平成12年	3月	・田原福祉センター増築完成

	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ・田原斎場に葬祭棟完成 4月 ・あつみライフランド(高齢者保健福祉センター)オープン 4月 ・渥美郡3町の市外局番が「0531」に統一 5月 ・議会だより「あつみ」創刊 8月 ・田原リサイクルプラザオープン(福祉授産所を改装) 9月 ・池ノ原会館オープン 10月 ・新渥美病院開院 10月 ・渥美町で第14回柳田國男ゆかりサミット開催 10月 ・名古屋地検特捜部、アサリ補助金問題で渥美町長以下4人を逮捕(11月町長辞職) 10月 ・中日ドラゴンズが渥美町総合運動場で秋季キャンプ実施 12月 ・赤羽根町が戸籍の電算化を実施
	☆介護保険制度スタート(4月～)
平成13年	<ul style="list-style-type: none"> 1月 ・(株)あつまるタウン田原創立(第3セクター) 2月 ・赤羽根町ホームページ開設 2月 ・赤羽根ロングビーチ線開通 3月 ・仁崎海水浴場が「日本の水浴場88選」に選定 4月 ・合併により「愛知みなみ農業協同組合」設立 4月 ・赤羽根町保健福祉センター完成 4月 ・田原町役場がISO14001認証を取得 6月 ・あかばね塾が環境大臣表彰受賞 7月 ・白谷海浜公園に陸上競技場完成 7月 ・東部中学校校舎完成 8月 ・やしの実ロマン実現[投流やしの実、渥美町(和地海岸)に漂着] 9月 ・田原町で移動図書館「いずみ号」巡回開始 9月 ・アサリ補助金問題で渥美町長・助役に有罪判決 10月 ・渥美郡3町合併協議会設置 10月 ・成章高校創立100周年記念式典開催 11月 ・赤羽根町老人福祉センター改修オープン 11月 ・渥美町観光協会が「花の観光地づくり大賞」受賞(日本観光協会主催)
平成14年	<ul style="list-style-type: none"> 3月 ・蔵王山展望台風力発電設備完成 3月 ・田原弓道場オープン 3月 ・渥美老人ホーム閉所 3月 ・渥美町地域婦人会活動終了 4月 ・東三河南部農業共済組合業務開始 4月 ・渥美・やしの実フェスタ開催 4月 ・恋路ヶ浜に「願いのかなう鍵」開設 4月 ・東海地震の地震防災対策強化地域に指定される。 6月 ・田原町情報センターオープン 7月 ・コミュニティバス(ぐるりんバス)運行開始 8月 ・田原町図書館オープン 8月 ・住民基本台帳ネットワークシステムスタート 8月 ・米国プリンストン市・ギブソン郡と友好都市提携 8月 ・中山小学校校舎完成 9月 ・赤羽根町でASP WQS5スタープロサーフィン世界大会開催

	9月 10月 10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・あつみNPOネットワーク発足 ・渥美郡3町合併協議会解散 ・赤羽根町で田原町との合併協議会設置を求める住民発議 ・渥美町で渥美郡3町の合併協議会設置を求める住民発議 ☆完全学校週5日制実施(4月～)
平成15年	2月 4月 4月 4月 4月 7月 7月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・田原町・赤羽根町合併協議会設置 ・赤羽根町議会だより創刊 ・赤羽根町、渥美町公共下水道一部供用開始 ・初立池公園オープン ・田原町・赤羽根町が合併協定書に調印 ・田原児童センターオープン ・伊良湖海上交通センター業務開始 ・田原町、赤羽根町で閉町記念式典実施
	8月	・田原町・赤羽根町が合併し「田原市」が誕生
	9月 10月 10月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・たはらエコ・ガーデンシティ構想推進協議会発足 ・第1回田原市民まつり開催(合併記念) ・田原市街地エリアでケーブルテレビ開局 ・東南海・南海地震防災対策推進地域に指定される。
平成16年	2月 3月 4月 4月 5月 7月 8月 8月 8月 12月 12月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・渥美町がパブリックコメント制度を導入 ・渥美花の村閉村 ・大山トンネル開通 ・田原斎場葬祭場を増築 ・渥美町が住民投票により田原市への編入合併を選択 ・市街地再開発事業(複合商業施設)「セントファーレ」オープン ・田原市・渥美町合併協議会設置 ・蔵王山展望台が「日本の夜景100選」に選定 ・トヨタ陸上長距離部所属の岩水嘉孝選手(浦町在住)がアテネオリンピック陸上3,000m障害に出場 ・田原市が環境省の「循環・共生・参加まちづくり表彰」を受賞 ・たはらエコ・ガーデンシティ構想が国土交通省の「環境行動計画モデル事業」に選定 ・田原市・渥美町が合併協定書に調印
平成17年	3月 3月 3月 3月 4月 4月 4月 4月 4月 5月 5月 6月 6月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知万博(愛・地球博)開幕(田原市フレンドシップ国:ラオス、リビア、渥美町フレンドシップ国:ドミニカ) ・漆田保育園園舎完成 ・田原臨海風力発電所(愛称:かぜりん)運転開始 ・伊良湖フラワーパーク閉園 ・渥美町が保育所の統合を実施[10園から7園へ(亀山、伊良湖、小塩津休園)] ・県内初PFI事業の田原リサイクルセンター「炭生館」稼動 ・交通公園オープン ・リビアの国際慈善協会総裁サイフ・カダフィ氏一行が来訪 ・たはら環境未来博(第12回全国風サミットほか)開催 ・緑が浜2号緑地に「エコパーク」オープン ・中心市街地再開発で国土交通省からまちづくり表彰を受賞 ・ラオスのソムサワート副首相が来訪 ・渥美町史(現代編)刊行

	9月	・渥美町閉町式実施															
	10月	・田原市と渥美町が合併し新「田原市」が誕生															
	10月	・田原市の市章、市民憲章、市の花(菜の花)、市の木(くすのき)を制定															
	10月	・「わたしが選ぶ渥美半島キラリ100選」決定															
	10月	・第18回国勢調査実施															
		★データ 第18回国勢調査結果〔人口・世帯〕															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>田原市</th> <th>(旧田原町)</th> <th>(旧赤羽根町)</th> <th>(旧渥美町)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>66,390</td> <td>39,062</td> <td>5,950</td> <td>21,378</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>21,761</td> <td>14,446</td> <td>1,534</td> <td>5,781</td> </tr> </tbody> </table>	区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)	人口	66,390	39,062	5,950	21,378	世帯	21,761	14,446	1,534	5,781
区分	田原市	(旧田原町)	(旧赤羽根町)	(旧渥美町)													
人口	66,390	39,062	5,950	21,378													
世帯	21,761	14,446	1,534	5,781													
	10月	・中国昆山市と友好都市提携再調印															
	10月	・たはらエコ・ガーデンシティ構想の取り組みが新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」を受賞															
	11月	・合併により平成16年の農業産出額が全国1位となる。															
平成18年	2月	・田原リサイクルセンター「炭生館」を運営する田原市とグリーンサイトジャパン(株)がバイオマス利活用優良表彰「農林水産大臣賞」及び「愛知環境賞金賞」を受賞															
	3月	・成章高等学校赤羽根校舎閉校															
	4月	・赤羽根地域(高松・赤羽根・若戸)市民館完成															
	4月	・中央公園テニスコートオープン															
	4月	・公共施設の指定管理者制度導入															
	4月	・パブリックコメント制度導入															
	7月	・恋路ヶ浜と伊良湖岬灯台が「恋人の聖地」に選定															
	9月	・東京製鐵(株)が田原4区に進出決定															
	11月	・平成17年農業産出額全国1位(2年連続)															
	11月	・韓国・銅雀区と姉妹都市協定締結															
	12月	・田原市総合計画策定															
		★データ 〔観光レクリエーション利用者数:318万人〕															
平成19年	1月	・カクメロ栽培方法に関する特許権を取得(渥美農業高等学校、JA愛知みなみ、JA豊橋と共同で)															
	1月	・市制施行後、最初の市議会議員一般選挙実施、定数30人から20人へ															
	3月	・国道259号バイパス(大久保地区)開通															
	3月	・「たはらの巨木・名木100選」選定															
	4月	・伊良湖岬保育園開園(保育所統合により新設)															
	4月	・大手公園完成(各種防災機能完備)															
	4月	・営農支援センター開設															
	4月	・田原市図書館が文部科学大臣賞受賞															
	4月	・市制施行後、最初の市長選挙実施(16年ぶりの選挙戦)新市長による市政スタート															
	4月	・行政評価制度を導入															
	6月	・市役所南庁舎完成															
	7月	・渥美地区「ぐるりんバス(中山線)」本格運行開始															
	9月	・サンテパークたはらリニューアルオープン(販売部門の経営をJA愛知みなみに移行)															
	11月	・赤羽根中学校校舎完成															
	11月	・吉胡貝塚史跡公園(シェルマよしご)オープン															
	11月	・平成18年農業産出額全国1位(3年連続)															
	12月	・「渥美半島菜の花浪漫街道」が日本風景街道に登録															

		★データ [臨海部等工業地帯進出企業数(立地件数):68社]												
平成20年	1月	・こども110番バス運行開始(県内初)												
	1月	・豊橋鉄道渥美線の車両及び豊鉄バスに菜の花の写真をラッピングした「なのはな号」運行開始												
	1月	・成章高校野球部が選抜高校野球大会(甲子園)出場決定 ※21世紀枠で36年ぶり2回目の出場												
	2月	・伊良湖校区コミュニティ協議会が伊良湖岬一帯にマツの苗木850本を植栽												
	2月	・福江地区高田歩道橋、菜の花模様の装飾工事完成 ・「はなとき通り」正式表示看板を交差点信号に設置												
	3月	・「美しい愛知づくり景観資源600選」に田原市内から県内最多の46か所指定												
	3月	・成章高校野球部が選抜高校野球大会(甲子園)初勝利 ※3月22日、開会式直後の第1試合で北海道の駒大岩見沢高校に3対2で見事初勝利。2回戦は3月27日、京都の平安高校と対戦し惜しくも3対2で敗れる。												
	3月	・田原市バイオマスタウン構想を国が認定公表(県下2番目)												
	4月	・成章高校が選抜高校野球大会(甲子園)で応援団賞最優秀賞を受賞 ※開会式直後の第1試合には、地元住民や全国のOBなど6,500人が集結。アルプスタンドから内外野まで市の花「菜の花」をイメージした帽子やメガホンなど黄色で埋め尽くし、チアリーダー、ブラスバンド、地域住民が一丸となって大声援を送り、開幕試合を盛り上げたことなどが認められた。												
	4月	・市民協働まちづくり条例を施行												
	8月	・広報たはらが月2回発行となる。広報サポーター(市民記者)制度を導入 ・地産地消の食育による安心子育て特区に認定												
	9月	・野田小学校新校舎完成												
	9月	・法人市民税の伸びにより、市税収入が過去最高 ※前年度比約41億円プラスの224億1,367万円となり過去最高を記録												
	11月	・田原市制施行5周年記念式典開催(市政功労者等を表彰)												
11月	・地球温暖化防止都市宣言(田原市制施行5周年記念式典で宣言、県下初)													
平成21年	2月	・設楽ダム建設同意などに関する調印式を設楽町で開催												
	3月	・伊良湖港周辺整備が国の「みなと振興計画」に認定 ・市内3か所目の「道の駅」あかばねロコステーションオープン												
	4月	・世界経済の混迷と景気後退により税収が大幅に減、当初予算も大幅減となる。 ※市税還付金約38億円を除く実質的な一般会計予算は、約249億5,000万円で、前年度費21.2%(約67億円)の減となった。 ・組織・機構の見直しを実施、市長部局10部2支所5部局を7部1支所5部局に改め、グループ制度を導入 ・たはらエコ・ガーデンシティ構想が新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と経済産業省の「新エネ百選」に選定												
	7月	・赤羽根海岸でロングボードの世界最高峰クラスサーフィン大会開催(日本初) ・アルゼンチンアリ大量発生、一斉駆除実施												
	8月	・福江市民館完成												
	10月	・「二・七の市」が松下公共駐車場からセントファーレ駐車場に移転 ・台風18号が知多半島に上陸、田原市も被害甚大												
			★データ 台風18号被害概要											
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>負傷者</th> <th>住家損壊</th> <th>床上浸水</th> <th>床下浸水</th> <th>河川越水</th> <th>道路被害</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人(軽傷)</td> <td>187棟</td> <td>46棟</td> <td>90棟</td> <td>4か所</td> <td>282か所</td> </tr> </tbody> </table>	負傷者	住家損壊	床上浸水	床下浸水	河川越水	道路被害	1人(軽傷)	187棟	46棟	90棟	4か所
負傷者	住家損壊	床上浸水	床下浸水	河川越水	道路被害									
1人(軽傷)	187棟	46棟	90棟	4か所	282か所									
		※農産(農作物等)被害額…約31億円、農業施設被害額…約13億円 資料:広報たはら												

	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・市内漁業協同組合の合併により、渥美漁協と愛知外海漁協が発足、中山漁協と小中山漁協は存続により市内4漁協体制となる。 ・田原市・宮田村友好都市提携10周年記念式典開催 ・東京製鐵(株)田原工場一部操業開始
平成22年	2月 3月 4月	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回全国菜の花サミットin田原開催 ・伊勢湾フェリー(株)が鳥羽ー伊良湖航路の廃航を発表 ・田原駅南公共駐車場オープン